



交通安全ニュース

(一社) 滋賀県トラック協会 安全環境委員会

平成27年8月
第52号

平成27年 上半期のトラック事故

今年県内で発生した事業用貨物自動車の第1当事者事故(滋賀ナンバー)の状況です。

	平成27年上半期	平成26年上半期
発生件数	35 件	38 件
死者数	1 人	1 人
重傷者数	2 人	4 人
軽傷者数	39 人	46 人

交通事故年間削減目標：人身事故50件以下、死亡事故ゼロ

暑さによる事故防止(疲労、注意力散漫)！！

疲れが残ったり、暑さでの睡眠不足など、この時期は夏特有の体調不良を訴えるドライバーが増加します。体調不良時には集中力が低下したり、ぼんやり運転になってしまいたいへん危険です。
体調の管理を徹底し、健康起因事故を防止しましょう。

熱中症に注意！

荷役作業、倉庫での仕分作業等で熱中症の発症が懸念されます。次の点に留意し熱中症予防に心がけましょう。

不健康状態を放置しない！

監督者が普段から把握すべき事項

糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全など持病の管理

監督者が日々からドライバーより確認すべき事項

睡眠不足、体調不良、前日の飲酒、朝食の未摂取、風邪での発熱、胃腸炎等の下痢などの自己申告を促す。

作業管理を徹底する！

強制飲水させる。(のどの渇きはあてにならない。自由飲水はNG)

作業者同士による声かけを励行する。

冷房を備えた休憩室の整備(経口補水液、氷、冷たいおしぼり等)

意識がない場合や15分休憩しても回復しない場合は救急車を要請

～ 熱中症を疑う症状とは ～

めまい、失神、こむら返り、大量の発汗、体がぐったりする、力が入らない